

じいちゃんのおねがい事

神奈川県 横浜市立伊勢山小学校三年 椎屋 ななほ

おじいちゃんのしゅみは、写真をとることです。朝のさんぽや外出の時にはかならずデジタルカメラをもっていきます。さんぽ中に見かけたカルガモの親子やアオサギの家族、春や秋の七草、庭先のツバキ、ゴマダラカミキリ、イラガの幼虫：と自分のとった写真をハガキにいんさつして、お姉ちゃんと私あてに送ってくれます。四年前の夏、私たちがかいた暑中みまいのお返事から定期的に送られてくるようになったおじいちゃんのお返事は、今では百六十五通になりました。

おじいちゃんはアイデアマンです。時々私たちにおねがい事をお願いします。去年は、

「写真のモデルさんになってほしい」

でした。日南市のいの崎鼻という所で、二つの島をバックにお姉ちゃんとブリッジをしました。他の場所でもブリッジをして写真をとりました。何どもブリッジをするのは大へんだけど、「いやあ、いい写真だ。」

とよるこぶおじいちゃんの顔を見たら、とてもうれしくなりました。おじいちゃんは、

「とつてもいい写真がとれたからモデルさんたちにお礼をしようって、ソフトラリームを。」

といて、ソフトラリームを「ごちそうしてくれました。ブリッジをして写真をとったこともみんなでいっしょにソフトラリームをたべたこともわすれられない思い出になりました。

今年のおねがい事は、

「じいちゃんの通っていた小学校の校歌を合唱してほしい」でした。おじいちゃんは、わからないことがあるとかならず本で調べたり、くわしい人に聞いたりして答えをさがします。

小学校の校歌を思い出したいと考えたおじいちゃんは、母校に問い合わせて昭和八年に作曲された校歌の古い文字楽ふをとりよせ、知りあいの音楽の先生にたのんで五線ふに直してもらったそうです。私たちは何ども練習をして、校歌を歌っている画ぞうをおじいちゃんにプレゼントしました。おじいちゃんは、

「ほう。二人ともよく歌えてるなあ。」

「じいちゃんもよくきいておぼえなくちゃ。」

「高音がきれいだ。」
とたくさんほめてくれました。今でも毎日三回再生してきているそうです。

おじいちゃんは今年八十四さいで、時々足元がふらつくことがあるのでゆつくり歩きます。だから、私はそつと手をつなぎます。おじいちゃんの手は大きくて温かいです。得意のかたたたきもしてあげます。すると、

「とても気もちがいいなあ。」
と目を細くしてよろこんでくれます。

宮崎県にすんでいるのでなかなか会えないけど、私はこれからもおじいちゃんよろこんでくれることをたくさんしてあげようと思います。来年はどんなおねがい事をされるのかな。